学校番号	2003

平成 31 年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語表現Ⅰ	2	第１学年	DUAL　SCOPE　English Expression DUAL SCOPE English Expression Tetra１４技能テスト対応総合問題集 Step by　Step 4　Skills Listening Laboratory Basic　β

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語表現Ⅰの授業では、言語習得の基本である文法を中心に学んでいきますが、単に文法の知識を理解するだけではなくそれを実際に「表現」する活動を多く取り入れていきます。

・高校１年次で学ぶべき文法事項はたくさんあります。そのため、授業中はもちろん、授業外でも自主的に学ぶ姿勢を求めます。

・文法学習は今後の英語学習の屋台骨となるものです。単なる規則と思わず、背骨を鍛えるつもりで繰り返し学習してください。

2　学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（3 単位）及び「英語表現Ⅰ」（2 単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
事実や意見などを、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝えることができる。 与えられた話題について，即興で話すことができる。	英語表現Ⅰ スピーキングテスト	読んだり聞いたりした事をまとめて、論理展開などを意識しながら簡潔に書くことができる。 自分の経験に基づき、あるテーマに沿って相手に伝わる文章を書くことが出来る。	英語表現Ⅰ ライティングテスト 定期考査	授業内での活動において、相手から伝えられた内容をまとめることが出来る	英Ⅰ リスニングテスト 定期考査	まとまった英文の概要を確実に掴むことができる。 まとまった英文の要点をキーワードで整理できる。	英Ⅰ 定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	ペアワークでの会話文を用いたスピーキング、グループワークでのディスカッションへの参加態度等英語でのコミュニケーションを積極的に図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	教科書を用いたペアでのスピーキングテストなど的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	Lesson が終わるごとに授業内で小テストを実施し、文法の理解度及び定着度を評価。 異文化への関心を高め、理解を深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元(配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1～3 (18 時間)	英語の型で表現する さまざまな「時」を表現する 助動詞を使って表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークやグループワークに積極的に取り組む。	・レッスンごとにある Further Activity のダイアログをペアでの形で再現する。 ・文法事項に関してペアで説明し合う。	・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話や説明をしているか。 ・read and look-up の形できちんとアイコンタクトをしながら会話しているか。	・グループ内でペアワークの評価シートを用いたセルフチェックをさせる。 ・ペアワークにおける言語活動や教え合いを観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・レッスンごとに学んだ文法事項を用いて簡単なライティングを行う。	・時制や助動詞を上手く使い分け、自分の習慣や週末の予定、校則に関するエッセーを書く。	・現在・過去・未来・完了などの時制を使い分けることができる。 ・適切な助動詞を使うことができる。	・エッセーを提出させ、その内容を取り組み状況や理解度の判断材料とする。 ・定期考査のライティングにおいて知識が身についているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・リスニング教材を正しく聴き取り、その意味を理解することができる。	・リスニングワークシートを用いて内容に関するペアワークや歌詞の聞き取り、ディクテーションを行う。	・正しく英語を聴き取り、それを書くことができる。	・ペアワークを積極的にしているか観察する。 ・ワークシートの内容を取り組み状況の判断材料とする。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・会話文に特有の言い回しを理解する。 ・時制・助動詞・受動態の概念を理解し、文脈に応じて使い分けられる。 ・異文化理解を深める	・レッスンごとに小テストを行い、文法事項の理解度を確認する。 ・NET による外国のジェスチャー等に関する quiz で異文化理解を深める。	・文脈に則して適切な時制表現や助動詞を使うことができる。 ・NET の話している内容を理解し、聞かれた質問内容に適切に答えることができる。	・小テストの内容から理解度を判断する。 ・NET による quiz で発話された質問内容を理解し、それに対して積極的に答えようとする姿勢があるかを観察する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 4～7 (20 時間)	受動態を使って表現する 不定詞を使って表現する 動名詞を使って表現する 分詞を使って表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークやグループワークに積極的に取り組む。	・レッスンごとにあるダイアログをペアで read and look-up の形で再現する。 ・文法事項に関してペアで説明し合う。	・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話や説明をしている。 ・read and look-up の形できちんとアイコンタクトをしながら会話している。	・ペアワークにおける言語活動や教え合いを観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・レッスンごとに学んだ文法事項を用いて簡単なライティングを行う。	・動名詞や不定詞を使いエッセーを書く。 ・関係詞を使い、エッセーを書くことができる。 ・書いたエッセーをもとにスピーキングをする。	・分詞構文を理解し、それを使った文を書くことができる。	・定期考査のライティングにおいて知識が身についているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・リスニング教材を正しく聴き取り、その意味を理解することができる。 ・NET によるスピーキングの内容を聞き取る。	・リスニングワークシートを用いて内容に関するペアワークやディクテーションを行う。 ・NET のスピーキング内容をメモし、話の要点をつかむ。	・正しく英語を聴き取り、それを書くことができる。	・ペアワークを積極的にしているか観察する。 ・ワークシートの内容を取り組み状況の判断材料とする。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・会話文に特有の言い回しを理解する。 ・助動詞・受動態の概念を理解し、文脈に応じて使い分けられる。 ・異文化理解を深める	・会話文特有の表現を理解し、実際にスピーキングをすることで定着させる。 ・レッスンごとに小テストを行い、文法事項の理解度を確認する。 ・NET による quiz で異文化理解を深める。	・文脈に則して適切な準動詞や分詞、関係詞を使うことができる。 ・NET の話している内容を理解し、聞かれた質問内容に適切に答えることができる。	・小テストの内容から理解度を判断する。 ・NET による quiz で発話された質問内容を理解し、それに対して積極的に答えようとする姿勢があるかを観察する。
Lesson 8～10 (15 時間)	比較を使って表現する 関係詞を使って表現する 仮定法を使って表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークやグループワークに積極的に取り組む。	・レッスンごとにあるダイアログをペアで read and look-up の形で再現する。 ・文法事項に関してペアで説明し合う。	・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話や説明をしている。 ・read and look-up の形できちんとアイコンタクトをしながら会話している。	・グループ内でペアワークの評価シートを用いたセルフチェックをさせる。 ・ペアワークにおける言語活動や教え合いを観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・レッスンごとに学んだ文法事項を用いて簡単なライティングを行う。	・比較表現を使い、社会問題に関するエッセーを書く。 ・仮定法を使い、社会問題に関するエッセーを書く ・書いたエッセーをもとにスピーキングをし、ペアで共有する。	・仮定法過去・過去完了を使い。仮定の話をする事ができる。 ・接続詞を使って流れがわかりやすい文章を書く工夫ができる。	・エッセーを提出させ、その内容を取り組み状況や理解度の判断材料とする。 ・定期考査のライティングにおいて知識が身についているかを判断する。

		「外国語理解の能力」			
		・リスニング教材を正しく聴き取り、その意味を理解することができる。 ・NET によるスピーキングの内容を聞き取る。	・リスニング教材を聴き、ワークシートを用いて内容に関するペアワークや、ディクテーションを行う。 ・NET のスピーキング内容をメモし、話の要点をつかむ。	・正しく英語を聴き取り、それを書くことができる。 ・英語特有の表現・言い回しなどを理解できる。	・ペアワークを積極的にしているか観察する。 ・ワークシートの内容を取り組み状況の判断材料とする。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・会話文に特有の言い回しを理解する。 ・比較・仮定法の概念を理解し、文脈に応じて使い分けられる。また、文と文を適切な接続詞でつなぐことができる。 ・異文化理解を深める	・会話文特有の表現を理解し、実際にスピーキングをすることで定着させる。 ・レッスンごとに小テストを行い、文法事項の理解度を確認する。 ・NET による外国のジェスチャー等に関する quiz で異文化理解を深める。	・文脈に則して適切な比較表現や仮定法、接続詞を使うことができる。 ・NET の話している内容を理解し、聞かれた質問内容に適切に答えることができる。	・小テストの内容から理解度を判断する。 ・NET による quiz で発話された質問内容を理解し、それに対して積極的に答えようとする姿勢があるかを観察する。